



震災復興支援
活動情報

Vol.7

サポセン
かわら版

「サポセンかわら版」では、東日本大震災で被災された方に向けた、救援物資の提供、お悩みやお困りごとのご相談、心のケアなどの活動を行う市民活動団体・NPO、企業の社会貢献による支援活動などの情報をお届けします。掲載された情報は、6月1日～6月8日に受付けた情報です。詳細については、各団体の連絡先に直接お問い合わせください。

発行:仙台市市民活動サポートセンター 電話:022-212-3010

6月30日(木)



一般社団法人パーソナルサポートセンター

仮設住宅での暮らしをサポートする「絆と安心プロジェクト」が始まりました

パーソナルサポートセンターは、様々な事情で安定した生活を送ることが難しい状態にある人たちに寄り添い、伴走型支援を行うことを目的に、高齢者、障がい者、女性、子ども、路上生活者支援など分野をこえた10団体が連携し、今年3月3日に設立された団体です。

震災後は、即座にそれぞれが培ってきたネットワークをフルに活用し、被災地への緊急物資支援等に奔走。各地で被災者支援を行ってきました。6月からは、被災し仮設住宅で暮らす方々を支援する「安心見守り協働事業」を仙台市とともにスタートさせました。「絆支援員」と呼ばれる見守り者が、仮設住宅を訪問し入居者の要望を聞いたり、入居者同士の関係づくりのお手伝いをしながら、復興段階での孤独死・自殺・社会的孤立を防ぎ、暮らしの再生をサポートしていきます。

●内容／すでにあすと長町地区では、入居者の顔合わせを兼ねたお茶のみ会が行われ、また、地元の市民団体や商店街などの協力を得て、フリーマーケットなども開催しています。今後は、宮城野区、若林区など市内にある仮設住宅へと活動範囲を広げていく予定です。

「コーヒーサロン」の開催

ゆっくりコーヒーを飲みながら、おしゃべりしませんか。

日時:7月8日(金)、9日(土)、10日(日)

13:00～15:00

場所:あすと長町仮設住宅集会所

●連絡先

代表者 新里 宏二

TEL:022(399)9662 FAX:022(224)1621

連絡可能な時間帯9:00～18:00(担当:後藤)



東北HIVコミュニケーションズ(THC)

HIV/AIDSに関する エイズ電話相談を開設しています

●内容／◎情報収集・発信:被災したHIV陽性者への情報提供(ブログ・電話相談)や被災地(東北地方)でのHIV検査の実施状況(中止・再開など)の調査と情報の発信◎エイズ電話相談:HIV/AIDSに関する相談・質問、被災地にいるHIV陽性者の方や感染の不安がある方からの相談に、専門的なトレーニングを積んだ相談員が応えています。

●連絡先 代表者 小浜 耕治

TEL:022(298)8532 FAX:022(298)8532

エイズ電話相談:TEL 022(276)1960

毎週土曜日18:00～21:00(お盆・年末年始をのぞく)

E-mail:thc@silk.plala.or.jp

ウェブサイト:http://blog.canpan.info/thc/



宮城県自閉症協会

被災された自閉症の方のサポート

●内容／自閉症の人たちが少しでも暮らしやすい社会になるよう啓発活動に力を入れている団体です。現在会員の方の安否確認をし、現況調査票の集計をしています。障がいを持っている人には、避難所では「現在の形だと不安だ」「居られない」という声が多く、もう少し暮らしやすい避難所のあり方や生活支援の方法について話し合っています。

●連絡先

代表者 目黒 久美子

TEL:080(3328)3802

E-mail:miyagiken.jiheishokyokai@softbank.ne.jp

ウェブサイト:http://blog.canpan.info/miyagi/



NPO法人東北マンション管理組合連合会

専門家によるマンションの被害相談

「マンションの壁が壊れた、穴が開いた、ドアが開かない」など住民にとってショックな被災状況から、「自分のマンションは大丈夫なのか」「修繕か、建て替えか」との相談が震災前と比べて3倍に増えています。このような相談にお応えするために、専門家である一級建築士がマンションの現場調査と診断を行います。住民集会に出向いてご説明し、管理組合の方々と今後の方向付けを一緒に考えながら、住民のみなさんが納得する方向で話し合っています。このほか、耐震補強についての助言もします。マンション修復に関して行政の被災状況の判定、支援制度、地震保険に関する相談なども受けています。

●内容／東北6県の分譲マンション管理組合の支援

(1)管理組合活動全般についての相談 (2)建物・設備の保全に関する相談 (3)マンション管理に関する情報交換(セミナー、勉強会、交流会、研修会) (4)マンションの建物の調査・診断・設計・監理(大規模修繕、耐震改修、見学会、特殊建物定期検査、長期修繕計画作成)

●連絡先

代表者 会長 鎌田 坦
TEL:022(221)1323 FAX:022(221)1327
連絡可能な時間帯 月～金 10:00～17:00
E-mail:support@tohoku-kanren.jp
ウェブサイト:http://www.tohoku-kanren.jp



Love Live Life Japan(ラブ・ライブ・ジャパン)

誰もが自分を輝かせて 生きるためのサポート

●内容／6月に設立したLove Live Life Japanらぶ☆りぶ☆らいふ☆じゃぱん通称3Lジャパンです。その名の通り、ラブでイキイキしたライブ感覚のライフを楽しむため、色々なことをやっています。この震災を乗り越え、喜び合える未来を作るためのサポートとなるイベント、ワークショップ、セミナー等を行っていきます。

●連絡先

代表者 及川 徳子(おいかわ とくこ)
TEL:090(1496)6844 FAX:022(262)6222
連絡可能な時間帯 9:00～23:00
E-mail:rock-stars@nifty.com
ウェブサイト:http://ameblo.jp/lovelivelifejapan/



仙台市カウンセリング研究会

被災者のところに寄り添う

●内容／青少年の指導育成や対人関係を主とした業務に携わっている人たち(教師、看護師、地域ボランティア等)の「カウンセリング講座」を開催しています。今年は、この大震災に年間テーマである「ここに寄り添う」ことの大切さと、生かされていることへの感謝をこめ、一般市民の方と社会の中でどのような役割を担うかを考えます。

●連絡先

代表者 村田 耕造
FAX:022(251)4961、022(247)2730



ナチュラルライフコミュニティ

自然療法を通して、 心身の健康を提案します

●内容／震災による心と体の不調、ストレスの緩和のために、バッチフラワー、アロマセラピーなどでケアできる機会を提供します。「震災後のこころケアタイム～バッチフラワーでセルフケア～」と題して講座を開催。自然療法をメインに「ナチュラルライフ」を楽しく実践します。

●連絡先

代表者 安達 美恵子
TEL:070(5018)0728(担当 仁乃森、三塚)
E-mail:naturallife.com@gmail.com
ウェブサイト:http://natulifecom.blog103.fc2.com/



日本の森バイオマスネットワーク

被災地における自然と共生する 持続可能な地域づくり

●内容／森林資源の活用を普及啓発し、自然と共生する持続可能な地域づくりを目的として活動してきました。震災後3月・4月は、避難所へのペレットストーブ、支援物資の配達(気仙沼市、南三陸町、石巻市)を行いました。4月からは、仮設住宅に代わる国産材の復興共生住宅「手のひらに太陽の家プロジェクト」を実施中です。

●連絡先

代表者 佐々木 豊志
TEL:0228(49)3155 090(2982)8771(担当:唐澤)
FAX:0228(49)3166
E-mail:office@jfbn.org
ウェブサイト:http://www.jfbn.org



宮城県学童保育緊急支援プロジェクト

子ども・保護者・学童指導者へのケア支援

震災で大きな痛手を受けた子どもと日常的に接し、その心のケアを担う保護者や学童保育指導員もまた被災者です。子どもの心のケアと同時に、子どもたちを支える大人のケアも必要であるとプロジェクトを立ち上げました。保護者や現場の指導員から十分に話を聞き、寄り添い、共に考えながら、各自が解決していく力を取り戻せるような支援を目指しています。必要に応じて、研修・講座・交流会、専門機関の紹介や派遣、または行政機関や他団体との連絡調整を行います。七ヶ浜町では、全ての指導員と時間をかけ懇談して課題を共有し、解決策を探りました。また石巻市への支援も始まっています。

●内容／一般の保護者個人の方からのご相談にも応じています。避難所におられる方、自立しようとされている方、転居を余儀なくされた方などのお子さんたちの心を案じています。当プロジェクトは全国から寄せられた義援金をもとに、仙台市学童保育連絡協議会が中心となり設立されました。どうぞ安心してご相談下さい。

●連絡先

代表者 池川 尚美
TEL:090(1930)4908 FAX:022(215)9867
連絡可能な時間帯 9:00～19:00
E-mail:miyagi_gakudou0311@yahoo.co.jp



仙台市学童保育連絡協議会

子どもたちのケアとより良い学童保育をめざして

●内容／仙台市内の保護者・指導員・学生・研究者など学童保育に関わる全ての人々との連絡を密にし、保育内容の研究、施設の充実、指導員の身分確立など制度の充実を求める運動の母体として、学童保育の啓発・普及・発展のための活動を行っています。全国からの義援金を受け「宮城県学童保育緊急支援プロジェクト」を設立。

●連絡先 代表者 高橋 京、齋藤 拓生、伊藤 美智子
TEL:090(1931)6361 FAX:022(223)4405
連絡可能な時間帯 15:30～18:00(大沼)
E-mail:sendai.gakudou@gmail.com
ウェブサイト:http://gakudo-sendai-miyagi.cocolog-nifty.com/



子育て支援グラマ

お父さん、お母さんたちのための一時預かりで子育て支援を

●内容／ちょっとひと息しませんか？ちょっと子どもを預けてもらえたら…。そんな要望にお応えし、被災地のお父さんお母さんたちが働いたり、通院するための託児にお応えしています。パパママの気持ちに寄り添って子育てを応援している託児ボランティアです。要予約ですが、6ヶ月～未就学児のお子さんの一時預りもいたします。

●連絡先

代表者 大澤 ちか子
TEL:090(5238)4544



NPO法人まなびのたねネットワーク

浦戸諸島桂島への支援のほか学校教育支援

●内容／◎復興支援活動：浦戸諸島桂島への支援として、「物資支援」「避難所手伝い」「漁業再開の手伝い」「自然体験、漁業復興支援、ツアーの実施」◎小・中学校での学校教育支援：「物資支援」「ニーズに応じたプログラムの実施、提供」「人材のコーディネート、情報提供」などの活動を行っています。

●連絡先

代表者 代表理事 伊勢 みゆき
TEL:090(1376)3572 FAX:022(268)4042 #102と記入
(担当 田中 聡子)
E-mail:info@manabinotanenw.com



認定NPO法人チャイルド・ファンド・ジャパン

被災地の子どものために色々な支援活動

●内容／「すべての子どもに開かれた未来を約束する国際社会の形成」を目指しています。緊急・復興支援事業として、被災地の子どもたちに励ましのメッセージや絵と文房具を送る「We are with you!～あなたはひとりじゃない!～プロジェクト」、子どものこころからだのケア活動など様々な復興支援活動を行っています。

●連絡先

代表者 理事長 深町 正信
TEL:03(3399)8123 FAX:03(3399)0730
連絡可能な時間帯 月～金9:00～17:45
E-mail:childfund@childfund.or.jp
ウェブサイト:http://www.childfund.or.jp/



公益社団法人 日本フラワーデザイナー協会宮城県支部

被災地を花のある生活で心癒やして

花が身近にある生活は心とむものです。しかし、現在のまだ大変な状況を考えると、そこまでの気持ちになれないかもしれません。でも、私たちは花々とのふれあいを通して、被災者の方々の心が少しでも癒やされ、日常生活に戻れるようお手伝いのできたら、と思っています。避難所や仮設住宅、介護施設などのニーズにお答えして駆け付け、フラワーアレンジメントの講習会や花束作りなどを行う予定です。

その他、要望に応じて可能なことがありますのでどうぞご連絡ください。相談だけでも構いませんのでぜひ、お声かけください。

●内容／

- ◎宮城県内におけるフラワーデザインの普及
- ◎宮城県内におけるフラワーデザインの技術向上の支援
- ◎講習会の開催
- ◎デモンストレーションの開催
- ◎教育機関、福祉施設などにおいて、花と触れ合う機会をつくる

●連絡先

代表 島崎 弥生
TEL:022(243)7270 FAX:022(243)7270
E-mail:syayoi@aol.com



みやぎ聞き書き村

被災の体験や想いを「聞き書き」いたします

●内容／震災で被災された方を対象に、「聞き書き」で被災の体験や想いを記録し、後世に伝えたいと考えています。被災体験を次代に伝えたいと考えている方、亡くなった親族の思い出を形に残しておきたいとお望みの方、ほかにも話したい事のある方はご連絡ください。一人ひとりの歴史を大切に考え記録に取り組む考えております。

●連絡先

代表者 境 数樹(さかい かずき)
TEL:022(377)7044 FAX:022(377)7021



東北民俗の会

大震災をテーマとした公開講演会を企画

●内容／東北地方の「民俗」研究を通じ地域や日本の生活文化の本質や変遷、現在の私たちの暮らしのありようについて考える東北民俗の会では、会員年次総会にあたり、大震災をテーマとした「民俗学者のみた東日本大震災」公開講演会を実施しました。その他の活動として、鮎川・石巻市などで文化財レスキューを行っています。

●連絡先 代表者 鈴木 岩弓

TEL:022(282)4074 FAX:022(282)4074
連絡可能な時間帯 夜間7時以降はほぼ在宅
E-mail:saras919@soleil.ocn.ne.jp
ウェブサイト:http://tohokuminzoku.com/

仙台市市民活動サポートセンターは、市民活動団体・NPO等の復興支援・まちづくり支援の一環として、9月30日(金)まで無料で貸室をご利用いただけます。

サポセンかわら版をご覧いただきありがとうございます。みなさまのご感想をお待ちしております。

発行 行: 仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ウェブサイト:<http://www.sapo-sen.jp>
E-mail:sendai@sapo-sen.jp

発行日: 2011年6月30日
編集: 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
編集人: 小松州子 菅野祥子 太田貴 葛西淳子 真壁さおり
取材: 市民ライターグループ「おかきプラス」
デザイン: 氏家朗

